

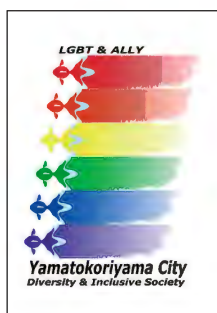
# 誰もが 自分らしく 生きられるまち

セクシュアルマイノリティ(LGBTQ)  
～わたしたちはここにいる～



自分のところとからだの性に違和感がなく、異性が好きな人ばかりではありません。同性が好きな人、異性も同性も好きな人、自分のところとからだの性に違和感を覚える人など、多様な性（LGBTQ など）が存在します。

どのような性別の人を好きになるか（性的指向）や、自分の性をどのように認識しているか（性自認）を理由とする偏見や差別に苦しんでいる人々があります。こうした性的指向や性自認を理由とする偏見や差別をなくし、多様な性（LGBTQ など）についての理解を深め、誰もが自分らしく生きられるまちにするために、みんなで考えて、できることから始めましょう。



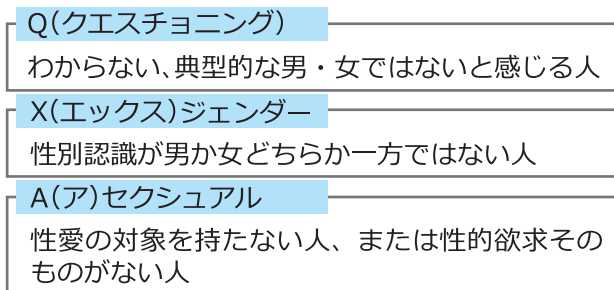
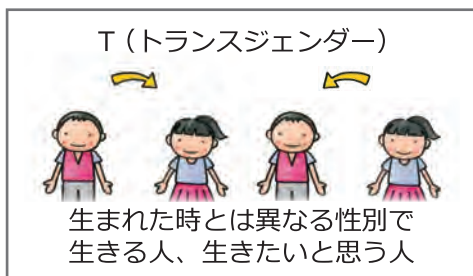
大和郡山市人権施策推進課  
〒639-1198 奈良県大和郡山市北郡山町 248-4  
電話：0743-53-1151（代表）  
WEB：<https://www.city.yamatokoriyama.nara.jp/>  
発行日：2019年（令和元年）7月

## 性の要素は様々・・・



身体の性・・・生まれながらの生物学的な性別  
 性自認・・・自分の性別をどう認識するか  
 性別役割・・・社会で求められる「男らしさ」「女らしさ」  
 性別表現・・・服装やふるまい、見た目  
 性的指向・・・恋愛や性的関心の対象  
 法的性別・・・戸籍などの法律上の性別  
 ※分野によって様々で、6つとは限りません。

## LGBTQ (エルジービーティーキュー)・・・とは



### ■ セクシュアルマイノリティ (性的少数者)

性的指向、性自認、性別表現等において「典型」あるいは「多数」とは異なる性のありようをもつ人たちの総称

### ■ レインボーフラッグ

6色の虹は性の多様性を表しています



《Point》・L/G/B/T/Q・・・に限らず、性のありようや表現は多様

- ・「ホモ」「レズ」「おかま」などは、侮辱・差別的に使われることが多い言葉
- ・「何者であるか」は見た目では判断できない。勝手に決めつけない
- ・「あたりまえ」「常識」も変わる。あなたの「あたりまえ」を見直そう

※これらはあくまでも作成時に整理したものです

情報は常に確認し更新していきましょう

# セクシュアルマイノリティ当事者の声 ～市民の声からみえる困りごと～

## LGB

## T

恋愛話がすごくしんどかった。

異性愛者のフリをする緊張感。

トイレが困った。

性別欄を見て、いつも本人かどうかを疑われる。



「もっと男(女)らしくなさい」と言われた。



同性パートナーが家族扱いされない。

「彼女(彼)は?」「結婚は?」と聞かれるストレス。

ランドセルの色、制服……。とにかく男女分けが嫌だった。

修学旅行のお風呂、水着や着替えが苦痛。

異性愛者前提の苦痛や不安

身体の性別に合わせる苦痛や苦勞

自己否定や葛藤、将来への不安

もっと早く情報があれば、悩まずにすんだのに!

誰にも言えない孤独。

「ホモ」「おかま」「気持ち悪い」と言われた。

将来に全く希望がない。

家族には負担をかけそうと言えない。

同性が好きだと気づいてショック!死んじやいたい!

ずっと自分は「変なんだ!」と思っていた。

ずっと嘘をついている気分。

- 《課題と背景》
- ・肯定する情報がないので、自分を受け入れにくい (=自己否定)
  - ・ありのままの自分を出しにくい
  - ・モデルがなく将来への希望が持ちにくい
  - ・助けを求めにくく孤立しやすい (アクセス困難)
  - ・差別・偏見、いじめや暴力被害
  - ・「男か女のどちらか」で異性愛前提の環境では不便や不利益が多い
  - ・未成年の場合、圧倒的に情報量が不足している

# わたしたちができること

～誰もが自分らしく生きられる社会のために～

## 決めつけない

- ・見た目で決めつけない
- ・言葉の工夫

例えば

夫婦 ⇒ カップル  
配偶者 ⇒ パートナー  
彼・彼女 ⇒ 恋人

- ・笑いのネタにしない

結婚は？

彼女はいる？



好きな女性は？

## 否定しない

- ・どんな性も尊重
- ・「違い」を否定しない



## 肯定的な情報発信

- ・多様な性に肯定的な言動
- ・多様性が見える工夫
- ・絵本や資料を置く
- ・応援メッセージ (虹)



## 学習の場をつくる

- ・職場での研修会の開催
  - ・住民向けの講座への参加
  - ・通信や配布物などの活用
- 例えば、『健康だより』  
『町内会だより』
- ・イベントや展示



## こんな時、あなたなら？

- ・近所に男性カップルがいたら
- ・「おかま」といじめられたら
- ・男性職員が女性として勤務したいと希望があったら
- ・娘に同性の恋人ができたら
- ・友人がゲイだったら

## 家族への支援

- ・家族も不安
- ・家族も相談場所がない
- ・家族(親、兄弟姉妹)がセクシュアルマイノリティの場合も



## 安心して居心地のよい環境

- ・制服など、デザインを工夫
  - ・選択肢を増やす
- 例えばトイレの名称  
⇒『誰でもトイレ』  
『多目的トイレ』
- ・相談できる場所や人材づくり



## もし相談があったら・・・

- ・まず、話を聞く
- ・「何者か」決めつけない
- ・困りごとに対応
- ・勝手に他人にしゃべらない



## 関心をもとう

- ・書類の性別欄
- ・ニュース
- ・国や自治体の対策  
(法律や制度・条例など)



表紙のマークは、市のシンボルである金魚に性の多様性を表す6色のレインボーをデザインしたもので、LGBTQ などのセクシュアルマイノリティの理解者・支援者(アライ)としてセクシュアルマイノリティを支援することを意味しています。

### ALLY (アライ)

同盟や支援、協力を意味する英語の ally が語源で、当事者ではない人が LGBTQ などのセクシュアルマイノリティを理解し、支援するという考えやその考えを持つ人のことをいいます。

### Diversity (ダイバーシティ)

多様性を意味し、さまざまな考え方や生き方をしている人を否定せず、個々の違いを尊重し、違いを積極的に活かすことにより、より良い社会の実現を目指すことをいいます。

### Inclusive (インクルーシブ)

包括的、包含しているさまを意味します。社会の構成員ひとり一人を尊重し、誰も切り捨てられないように援護し、支え合っていくことをいいます。